



観光統計

宿泊旅行統計調査

令和元年11月29日
観光庁

(令和元年9月・第2次速報、令和元年10月・第1次速報)

1. 延べ宿泊者数

- 令和元年9月の延べ宿泊者数(全体)は、**4,375万人泊**で、前年同月比**-1.5%**であった。また、10月の延べ宿泊者数(全体)は**4,648万人泊**で、前年同月比**-0.2%**であった。
- 日本人延べ宿泊者数は、9月は、**前年同月比-2.1%**であった。また、10月は前年同月比**-2.8%**であった。
- 外国人延べ宿泊者数は、9月は、**692万人泊**で、**前年同月比+1.7%**であり9月としては調査開始以来の最高値であった。また、10月は前年同月比**+11.7%**であった。

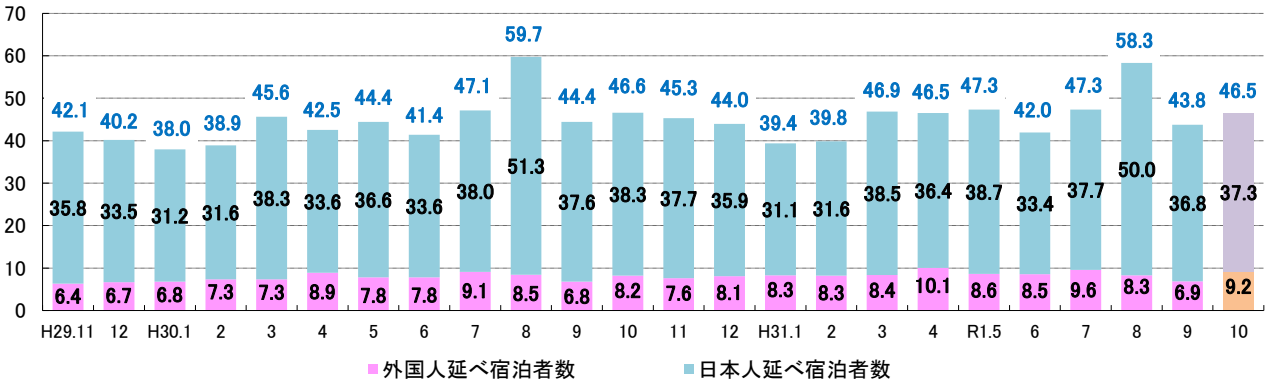
(万人泊)

	全体	日本人	外国人
R1.9	4,375	3,683	692
(前年同月比)	-1.5%	-2.1%	+1.7%
R1.10 (※)	4,648	3,727	921
(前年同月比)	-0.2%	-2.8%	+11.7%

※令和元年10月の数値は第1次速報値であり、令和元年12月25日公表予定の第2次速報値で変更となる点にご留意いただきたい。

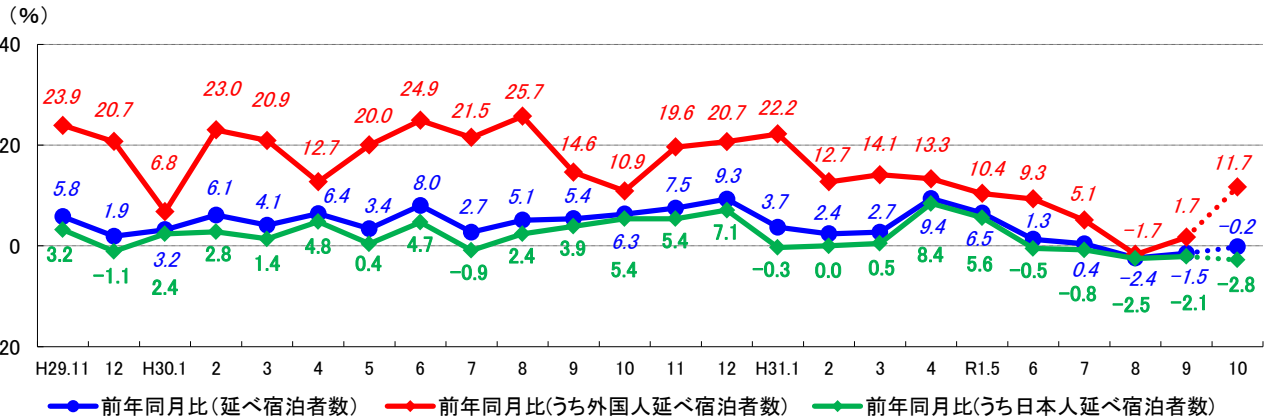
ー延べ宿泊者数推移ー

(百万人泊)



※上表の青字にした数値は、日本人及び外国人の延べ宿泊者数を合計した全体の数値である。

ー延べ宿泊者数前年同月比の推移ー



2. 客室稼働率

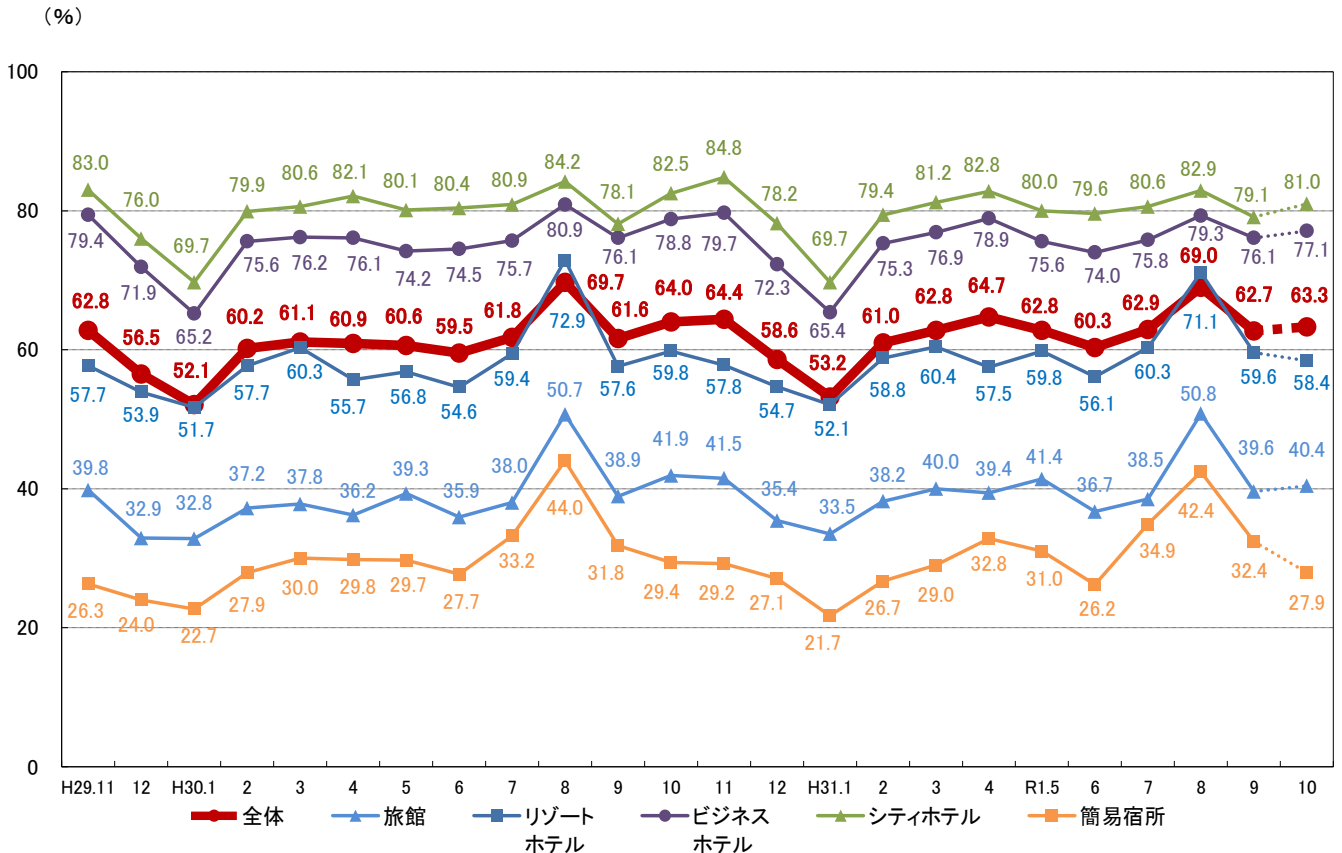
- 令和元年9月の客室稼働率は全体で62.7%であった。また、10月は全体で63.3%であった。
- 令和元年9月に客室稼働率が80%を超えた都道府県は、リゾートホテル2箇所(平成30年9月:2箇所)、ビジネスホテル8箇所(前年同月:9箇所)、シティホテル9箇所(前年同月:11箇所)であった。
- 全体の稼働率では、東京都が79.4%と全国で最も高い値であった。

(%)

	全体	旅館	リゾートホテル	ビジネスホテル	シティホテル	簡易宿所
R1.9	62.7	39.6	59.6	76.1	79.1	32.4
(前年同月差)	+1.1	+0.7	+2.0	±0.0	+1.0	+0.6
R1.10(※)	63.3	40.4	58.4	77.1	81.0	27.9
(前年同月差)	-0.7	-1.5	-1.4	-1.7	-1.5	-1.5

※令和元年10月の数値は第1次速報値であり、令和元年12月25日公表予定の第2次速報値で変更となる点にご留意いただきたい。

一施設タイプ別客室稼働率の推移一



—都道府県別宿泊施設タイプ別客室稼働率(令和元年9月(第2次速報))—

(左、単位: %、右(「全体」は中央): 宿泊施設タイプ別の都道府県順位)

	全体			旅館	リゾート ホテル	ビジネス ホテル	シティ ホテル	簡易宿所					
		前年同月差											
全国	62.7	-	+1.1	39.6	-	59.6	-	79.1	-	32.4	-		
北海道	71.6	4	+14.5	59.1	1	56.4	21	82.4	5	83.4	2	43.4	7
青森県	62.3	13	-3.5	40.0	24	56.5	20	76.7	13	70.8	29	48.9	4
岩手県	57.0	25	+1.4	40.5	22	62.2	9	74.2	22	75.4	15	24.9	22
宮城県	57.2	22	-7.3	41.5	20	51.2	30	64.6	41	69.5	32	26.9	17
秋田県	59.7	17	+2.9	47.9	9	50.4	32	73.7	27	74.6	19	25.1	21
山形県	57.1	24	-2.1	39.9	25	38.6	42	77.3	11	72.7	24	21.2	29
福島県	52.1	35	+4.0	44.6	15	57.3	19	67.5	40	74.5	20	14.8	35
茨城県	60.7	15	+7.3	33.2	34	55.6	26	75.5	18	69.8	30	32.4	14
栃木県	55.2	29	-2.1	44.1	17	60.6	12	74.0	24	72.6	26	17.4	32
群馬県	53.6	31	-0.2	47.2	11	53.5	27	70.4	35	62.7	44	14.4	36
埼玉県	69.8	7	+4.7	55.0	3	43.9	40	75.0	21	75.1	16	27.2	16
千葉県	71.0	5	+2.5	30.6	38	84.2	2	76.3	14	81.7	7	24.1	25
東京都	79.4	1	-1.7	45.9	12	61.0	11	83.6	3	83.1	3	53.0	3
神奈川県	74.1	3	+9.1	55.6	2	71.5	5	85.2	1	83.1	3	61.3	1
新潟県	46.3	45	+4.6	25.3	44	32.1	46	72.2	30	72.7	24	13.9	38
富山県	60.0	16	+2.3	28.9	41	55.9	24	73.2	28	64.1	43	45.8	5
石川県	64.1	12	-2.6	50.2	4	59.8	15	74.0	24	75.7	14	37.5	12
福井県	55.1	30	+1.4	37.7	27	56.0	23	80.1	7	66.9	39	9.5	46
山梨県	48.1	43	+1.2	41.6	19	60.2	14	76.3	14	68.6	35	24.2	24
長野県	40.0	46	+0.2	27.8	42	44.4	38	75.1	20	78.6	10	12.2	43
岐阜県	56.5	26	+4.1	44.6	15	48.1	36	80.5	6	71.8	27	26.1	19
静岡県	57.9	21	+3.1	45.6	13	53.0	28	74.1	23	74.2	22	26.7	18
愛知県	67.9	8	-2.5	24.4	46	51.0	31	75.7	17	74.5	20	45.8	5
三重県	49.9	42	-4.5	33.2	34	48.4	35	68.6	38	64.4	41	11.4	44
滋賀県	52.3	34	+2.2	34.2	31	58.2	17	64.6	41	76.2	12	20.4	30
京都府	67.0	10	+4.5	40.4	23	56.1	22	82.8	4	81.9	6	41.1	8
大阪府	76.9	2	+4.3	32.7	37	94.2	1	77.3	11	82.9	5	57.8	2
兵庫県	55.3	28	+1.8	33.5	32	55.9	24	73.8	26	74.9	17	14.1	37
奈良県	39.9	47	-6.6	30.5	39	73.4	3	46.2	47	67.8	36	23.1	27
和歌山県	47.2	44	+1.6	37.6	28	50.3	33	69.5	37	67.5	38	23.3	26
鳥取県	53.2	32	-5.3	47.4	10	60.3	13	70.7	32	80.3	9	13.5	39
島根県	57.2	22	+4.1	44.9	14	42.7	41	76.0	16	76.2	12	9.4	47
岡山県	58.9	19	-3.8	29.2	40	33.5	45	83.7	2	60.6	47	16.9	33
広島県	70.3	6	+0.7	48.5	8	61.2	10	80.0	8	86.9	1	36.5	13
山口県	50.8	37	-10.9	35.3	30	51.4	29	64.2	43	64.6	40	12.8	41
徳島県	50.7	38	-0.6	23.4	47	38.5	43	70.5	33	64.3	42	24.5	23
香川県	61.9	14	+0.7	49.1	7	73.0	4	70.5	33	69.5	32	38.8	10
愛媛県	55.4	27	-2.9	49.3	6	62.8	8	63.4	45	74.1	23	15.8	34
高知県	50.3	40	+2.3	41.3	21	59.3	16	68.4	39	71.4	28	12.6	42
福岡県	67.4	9	-4.6	27.7	43	30.4	47	75.4	19	74.7	18	38.1	11
佐賀県	58.7	20	-1.1	49.5	5	67.8	7	79.0	9	61.3	46	18.8	31
長崎県	51.5	36	-5.3	37.1	29	49.7	34	71.3	31	69.5	32	10.7	45
熊本県	59.5	18	-0.8	43.4	18	47.7	37	78.3	10	80.7	8	31.9	15
大分県	50.2	41	-7.6	38.8	26	58.1	18	64.2	43	62.7	44	22.0	28
宮崎県	50.4	39	-2.3	33.4	33	37.9	44	61.3	46	69.8	30	13.3	40
鹿児島県	53.0	33	-5.9	32.8	36	44.3	39	69.9	36	67.8	36	26.0	20
沖縄県	65.0	11	-5.6	24.9	45	69.1	6	73.2	28	77.8	11	40.0	9

※宿泊施設タイプ別に見たとき、客室稼働率が最も大きかった都道府県を朱書きにしている。

また、客室稼働率が80%を超えている都道府県は青色、90%を超えている都道府県は黄色で示している。

※「全体」の前年同月差は、前年同月の客室稼働率との差分を示している(前年同月比ではない)。

注1) 令和元年9月(第2次速報)は、令和元年9月分の宿泊旅行統計調査について、令和元年11月15日までに回収された有効な調査票(有効回収率:51.4%)を基に推計を行ったものである。したがって、当資料の数値は、令和元年10月31日公表の「宿泊旅行統計調査(令和元年9月・第1次速報)」と異なっている点にご留意いただきたい。

注2) 令和元年10月(第1次速報)は、令和元年10月分の宿泊旅行統計調査について令和元年11月15日までに回収された有効な調査票(有効回収率:28.9%)を基に推計を行ったものである。したがって、当資料の数値は、令和元年12月25日公表予定の「宿泊旅行統計調査(令和元年10月・第2次速報)」で変更となる点にご留意いただきたい。

注3) 前年同月差は、確定値との差分である。

注4) 本資料においては、平成19年~平成30年の数値は確定値、平成31年1月~令和元年9月の数値は第2次速報値、令和元年10月の数値は第1次速報値を使用している。

※参考: 令和元年9月・第1次速報公表時の有効回収率: 31.1%

問い合わせ先

観光庁観光戦略課観光統計調査室 中島、湯原、迫下
TEL 03-5253-8111(内線 27-214、27-216、27-217)
03-5253-8325(直通)
FAX 03-5253-1691

～調査結果概要～

- 令和元年9月の延べ宿泊者数は、4,375万人泊(前年同月比-1.5%)で、うち外国人延べ宿泊者数は692万人泊(前年同月比+1.7%)。延べ宿泊者全体に占める外国人宿泊者の割合は15.8%。
- 都道府県別延べ宿泊者数上位5都道府県は、前年同月と同一であった。

1. 都道府県別延べ宿泊者数

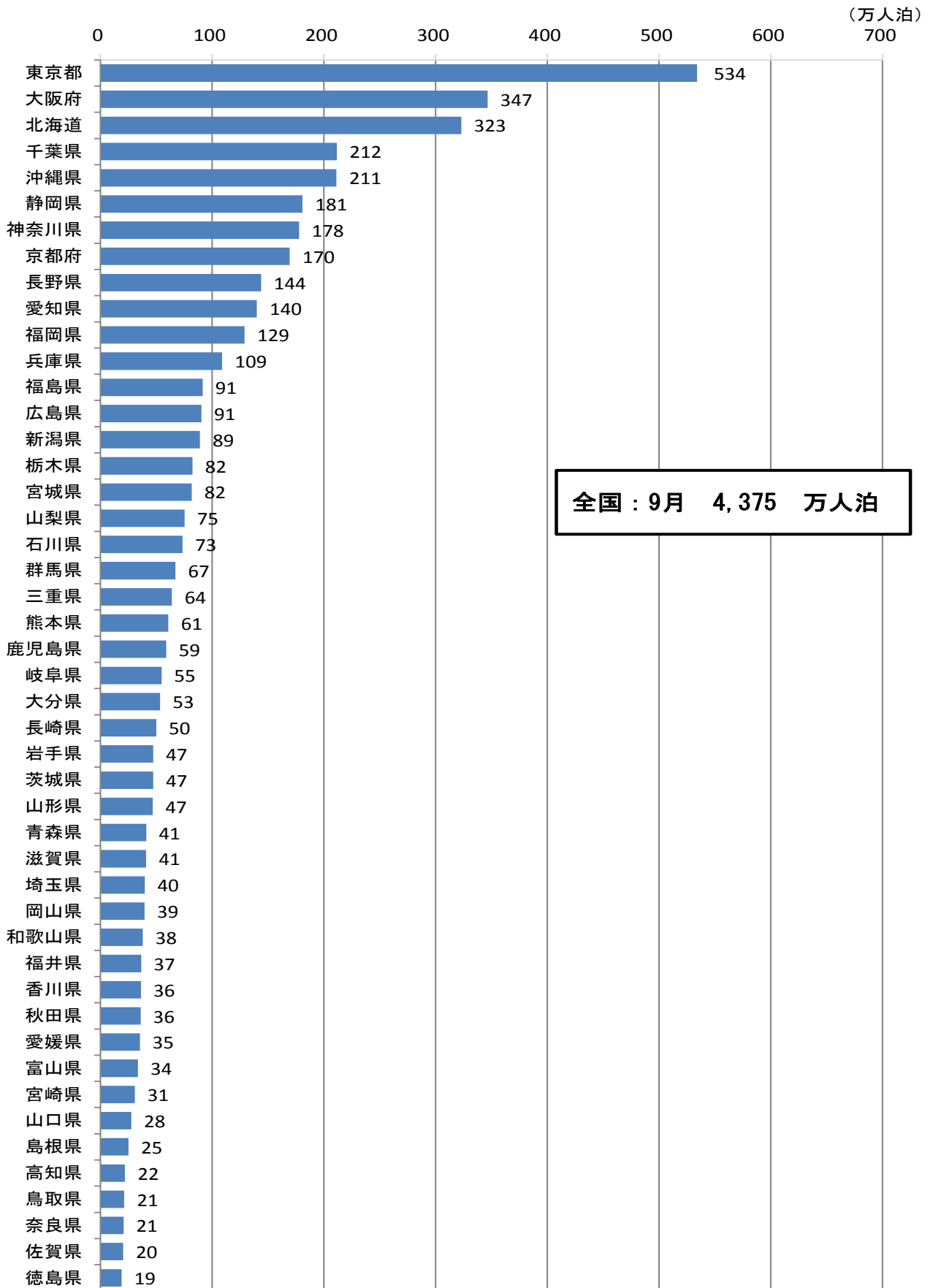
①都道府県別延べ宿泊者数(令和元年9月(第2次速報))と前年同月比

(単位:人泊)

施設所在地	延べ宿泊者数	前年同月比
全国	43,754,670	-1.5%
北海道	3,231,180	+26.8%
青森県	410,240	-9.6%
岩手県	473,270	-8.6%
宮城県	817,780	-11.6%
秋田県	360,490	+7.9%
山形県	468,210	-7.3%
福島県	914,930	-1.3%
茨城県	472,460	+5.9%
栃木県	824,800	+0.2%
群馬県	671,960	-3.6%
埼玉県	397,010	-3.4%
千葉県	2,116,240	-2.6%
東京都	5,341,800	-5.2%
神奈川県	1,778,850	-8.8%
新潟県	890,520	+13.4%
富山県	335,760	-5.6%
石川県	734,600	-4.3%
福井県	365,160	-1.4%
山梨県	753,200	-1.4%
長野県	1,438,490	-10.4%
岐阜県	548,210	-3.9%
静岡県	1,808,480	+6.6%
愛知県	1,400,750	+3.0%
三重県	640,280	-10.0%
滋賀県	409,930	-3.9%
京都府	1,695,040	+7.6%
大阪府	3,465,950	+11.0%
兵庫県	1,089,690	+6.5%
奈良県	207,420	+3.3%
和歌山県	380,120	+5.9%
鳥取県	213,350	-32.3%
島根県	251,920	+0.8%
岡山県	394,270	-21.7%
広島県	905,210	+6.2%
山口県	277,450	-24.7%
徳島県	189,190	+5.4%
香川県	362,860	+8.4%
愛媛県	353,610	+6.6%
高知県	219,790	-14.1%
福岡県	1,289,300	-7.1%
佐賀県	204,560	-1.1%
長崎県	499,470	-18.0%
熊本県	607,540	-7.8%
大分県	533,780	-14.0%
宮崎県	307,880	-9.5%
鹿児島県	588,410	-20.4%
沖縄県	2,113,250	-13.5%

※ 前年同月比は、確定値との比較である。

②都道府県別延べ宿泊者数（令和元年9月（第2次速報））



2. 外国人延べ宿泊者数

(1)都道府県別外国人延べ宿泊者数

○外国人延べ宿泊者数は、692万人泊で、9月としては調査開始以来の最高値であった。なお、調査を開始した平成19年における同時期と比較すると約3.5倍(※1)となっている。

○三大都市圏と地方部(※2)で外国人延べ宿泊者数の対前年同月比を比較すると、三大都市圏で+7.3%、地方部で-7.6%であった。

※1)平成19年は従業者数10名以上の施設のみ調査対象としていた。従業者数10名以上の施設でみた外国人延べ宿泊者数は、平成19年9月：176万人泊、令和元年9月：619万人泊。

※2)三大都市圏とは、「東京、神奈川、千葉、埼玉、愛知、大阪、京都、兵庫」の8都府県をいう。地方部とは、三大都市圏以外の道県をいう。

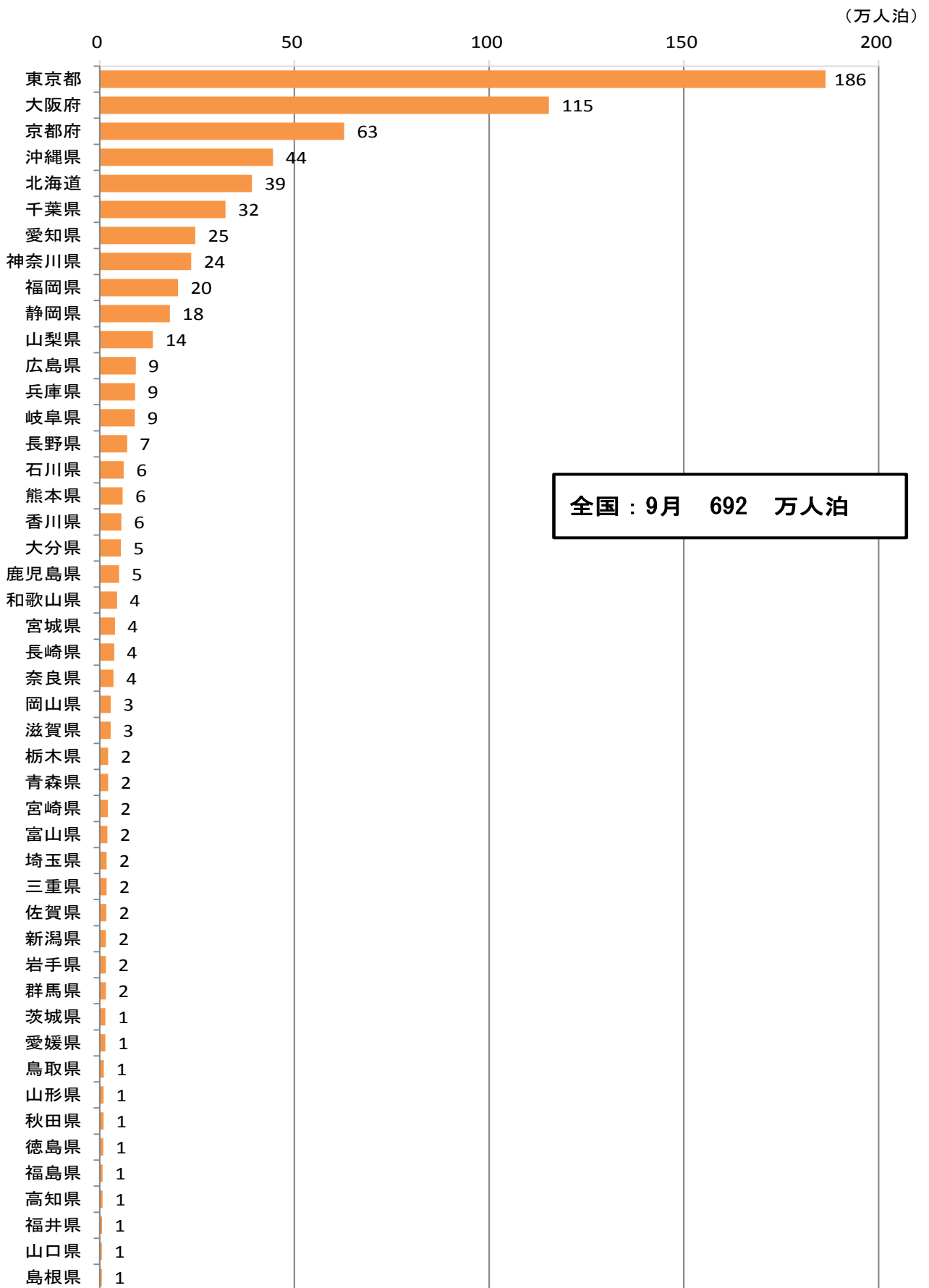
①都道府県別外国人延べ宿泊者数(令和元年9月(第2次速報))と前年同月比

(単位:人泊)

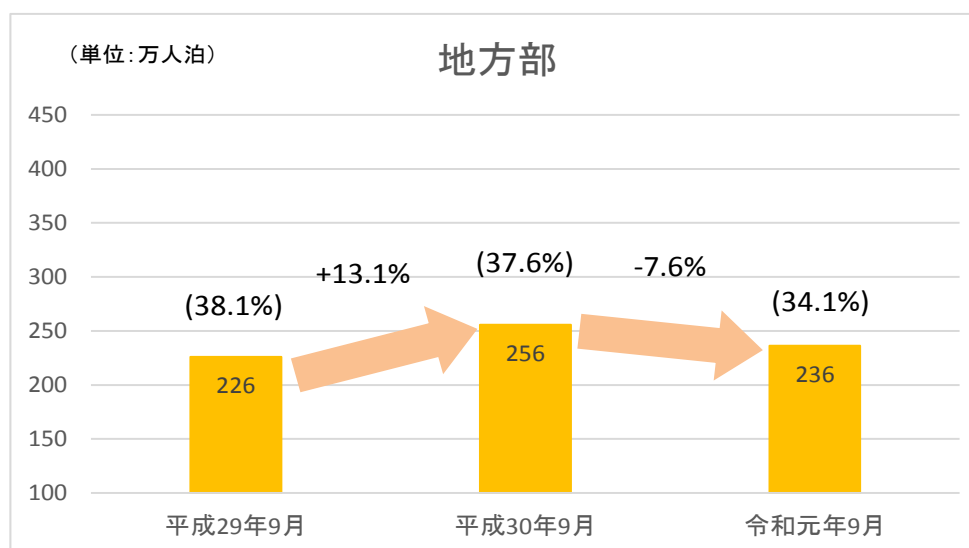
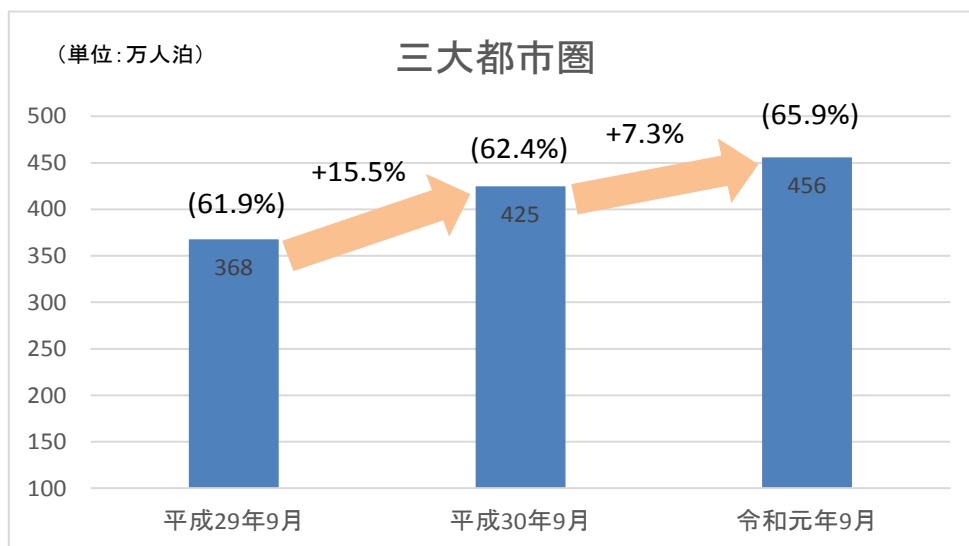
施設所在地	延べ宿泊者数	前年同月比
全国	6,920,770	+1.7%
北海道	390,810	+9.2%
青森県	21,670	-1.9%
岩手県	15,590	+28.5%
宮城県	39,100	+46.9%
秋田県	9,860	+31.5%
山形県	9,970	+34.4%
福島県	7,290	-14.6%
茨城県	14,630	-43.4%
栃木県	21,690	+8.5%
群馬県	15,550	-22.7%
埼玉県	17,820	-21.8%
千葉県	322,830	+2.5%
東京都	1,863,780	-8.1%
神奈川県	235,000	+6.5%
新潟県	15,950	-47.3%
富山県	19,590	-9.1%
石川県	61,470	-7.9%
福井県	6,020	+55.6%
山梨県	136,600	+23.4%
長野県	70,470	-10.7%
岐阜県	90,250	-10.7%
静岡県	180,080	+44.5%
愛知県	245,640	+29.2%
三重県	17,520	-22.8%
滋賀県	27,890	+28.8%
京都府	627,870	+49.6%
大阪府	1,153,620	+18.4%
兵庫県	91,040	+20.2%
奈良県	35,550	+12.1%
和歌山県	44,420	+35.5%
鳥取県	10,210	-22.3%
島根県	5,080	+16.0%
岡山県	28,190	-21.2%
広島県	92,420	-11.6%
山口県	5,480	-42.6%
徳島県	8,960	+28.2%
香川県	55,570	+21.6%
愛媛県	14,370	-7.2%
高知県	6,930	+29.5%
福岡県	201,160	-25.0%
佐賀県	17,000	-39.5%
長崎県	36,970	-36.6%
熊本県	59,090	-12.4%
大分県	54,160	-40.2%
宮崎県	20,950	-14.2%
鹿児島県	49,900	-14.4%
沖縄県	444,760	-21.5%

※ 前年同月比は、確定値との比較である。

②都道府県別外国人延べ宿泊者数(令和元年9月(第2次速報))



③三大都市圏及び地方部における外国人延べ宿泊者数比較

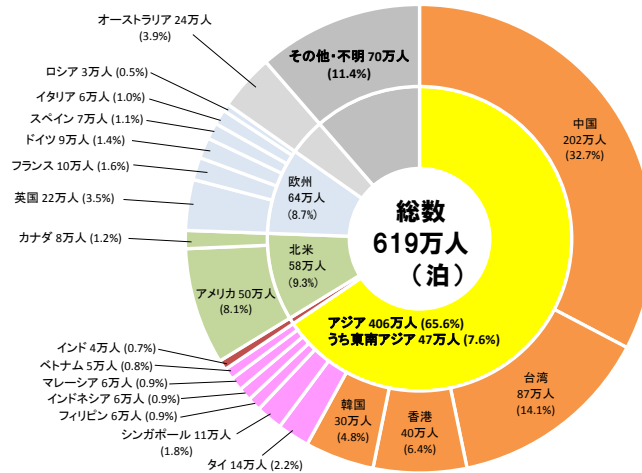


※ ()内は構成比を表している。

(2) 国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数

- 令和元年9月の国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数は、第1位が中国、第2位が台湾、第3位がアメリカ、第4位が香港、第5位が韓国で、上位5カ国・地域で全体の66.0%を占める。
- 伸び率で見ると、イギリス(前年同月比+102.6%)等が大幅に拡大した。

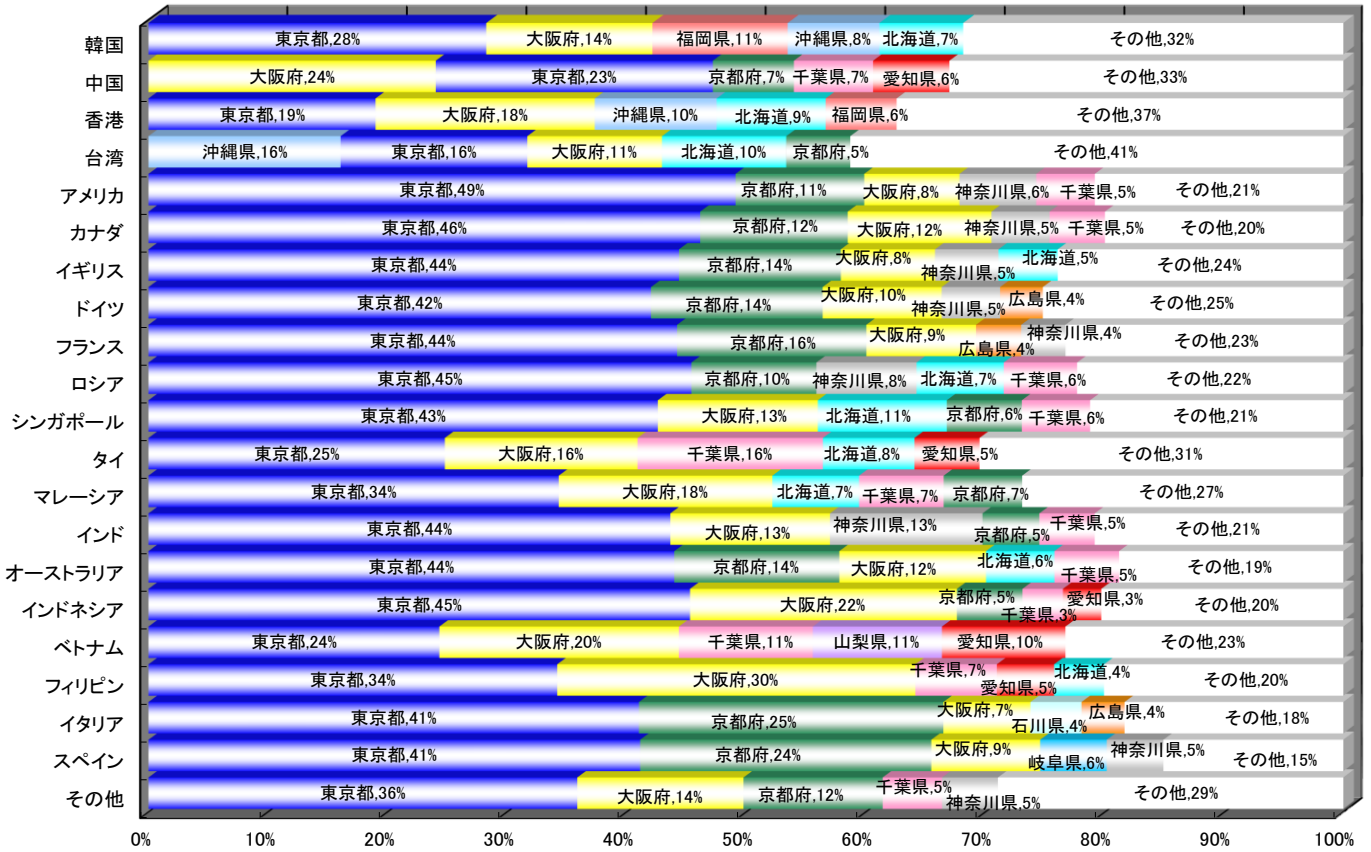
④国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数(令和元年9月(第2次速報))



順位	国籍(出身地)	合計		前年同月比
		(人泊)	シェア	
第1位	中国	2,022,180	32.7%	+23.9%
第2位	台湾	869,880	14.1%	+8.7%
第3位	アメリカ	498,440	8.1%	+17.0%
第4位	香港	398,590	6.4%	+1.6%
第5位	韓国	295,630	4.8%	-62.4%
第6位	オーストラリア	239,870	3.9%	+26.5%
第7位	英国	216,950	3.5%	+102.6%
第8位	タイ	137,530	2.2%	+2.5%
第9位	シンガポール	114,360	1.8%	+11.9%
第10位	フランス	95,970	1.6%	+24.7%
第11位	ドイツ	88,410	1.4%	+5.8%
第12位	カナダ	77,320	1.2%	+22.6%
第13位	スペイン	69,860	1.1%	+7.8%
第14位	イタリア	64,420	1.0%	-13.4%
第15位	フィリピン	57,230	0.9%	+26.5%
第16位	インドネシア	56,730	0.9%	-9.9%
第17位	マレーシア	56,260	0.9%	-4.6%
第18位	ベトナム	49,090	0.8%	+36.7%
第19位	インド	41,870	0.7%	+2.0%
第20位	ロシア	31,280	0.5%	+22.7%
	その他	630,120	10.2%	+8.3%
	合計	6,186,540	100.0%	+4.7%

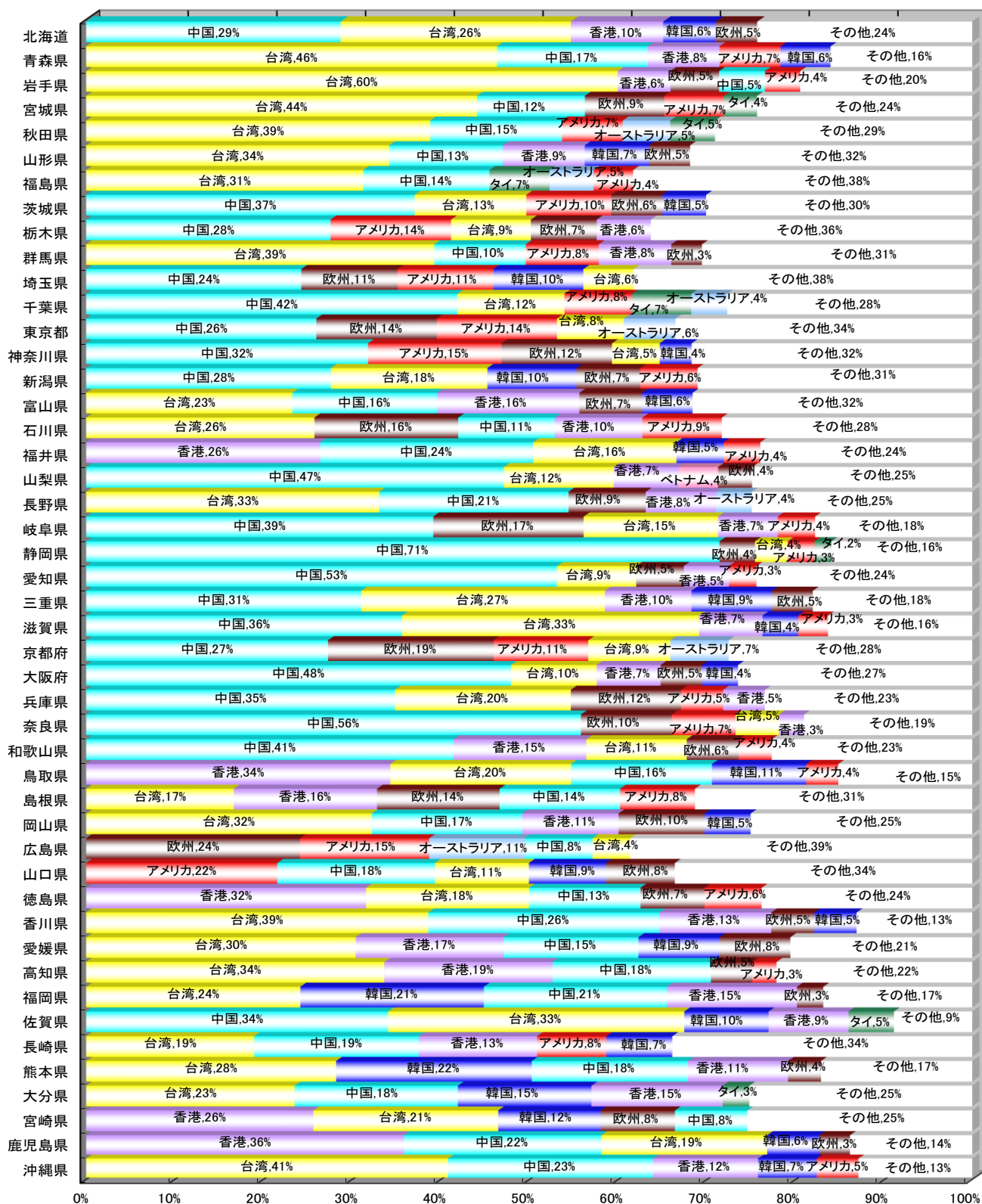
- ※ 従業者数10人以上の施設に対する調査から作成。
- ※ 国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数の調査において、以下のとおり調査対象国を追加している。
 - ・平成25年第1四半期調査よりインドネシア
 - ・平成25年第2四半期調査よりベトナム、フィリピン
 - ・平成27年4月分調査よりイタリア、スペイン
- ※ 前年同月比は、確定値との比較である。

⑤国籍(出身地)別、都道府県別外国人延べ宿泊者数構成比(上位5都道府県)
(令和元年9月(第2次速報))



※従業者数10人以上の施設に対する調査から作成

⑥都道府県別、国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数構成比(上位5国籍)
(令和元年9月(第2次速報))



※ 欧州はドイツ・英国・フランス・ロシア・イタリア・スペインの6カ国
※ 従業者数10人以上の施設に対する調査から作成

<参考>延べ宿泊者数・客室稼働率推移表

○延べ宿泊者数推移表

(単位:人泊、%)

	延べ宿泊者数		うち日本人延べ宿泊者数		うち外国人延べ宿泊者数		
		前年(同月)比		前年(同月)比		前年(同月)比	
平成19年	309,381,780	—	286,727,440	—	22,654,340	—	
平成20年	309,698,710	+0.1%	287,450,410	+0.3%	22,248,300	-1.8%	
平成21年	301,303,940	-2.7%	283,006,170	-1.5%	18,297,770	-17.8%	
平成22年	413,048,930	+15.8%	385,539,960	+14.1%	27,508,970	+42.2%	
平成23年	417,234,450	-2.7%	398,818,760	-0.1%	18,415,690	-34.6%	
平成24年	439,495,120	+5.3%	413,180,780	+3.6%	26,314,340	+42.9%	
平成25年	465,893,370	+6.0%	432,397,640	+4.7%	33,495,730	+27.3%	
平成26年	473,501,950	+1.6%	428,677,350	-0.9%	44,824,600	+33.8%	
平成27年	504,078,370	+6.5%	438,463,770	+2.3%	65,614,600	+46.4%	
平成28年	492,485,160	-2.3%	423,096,220	-3.5%	69,388,940	+5.8%	
平成29年	509,596,860	+3.5%	429,906,270	+1.6%	79,690,590	+14.8%	
平成30年	538,001,500	+5.6%	443,726,260	+3.2%	94,275,240	+18.3%	
平成30年	1月	37,964,420	+3.2%	31,171,740	+2.4%	6,792,680	+6.8%
	2月	38,899,650	+6.1%	31,560,990	+2.8%	7,338,660	+23.0%
	3月	45,644,860	+4.1%	38,305,660	+1.4%	7,339,200	+20.9%
	4月	42,509,270	+6.4%	33,630,370	+4.8%	8,878,900	+12.7%
	5月	44,445,160	+3.4%	36,635,630	+0.4%	7,809,530	+20.0%
	6月	41,406,270	+8.0%	33,587,280	+4.7%	7,818,990	+24.9%
	7月	47,142,860	+2.7%	38,028,900	-0.9%	9,113,960	+21.5%
	8月	59,715,640	+5.1%	51,258,710	+2.4%	8,456,930	+25.7%
	9月	44,439,890	+5.4%	37,635,380	+3.9%	6,804,510	+14.6%
	10月	46,582,920	+6.3%	38,338,320	+5.4%	8,244,600	+10.9%
	11月	45,282,650	+7.5%	37,673,580	+5.4%	7,609,070	+19.6%
	12月	43,967,910	+9.3%	35,899,690	+7.1%	8,068,220	+20.7%
平成31年	1月	39,368,380	+3.7%	31,068,740	-0.3%	8,299,640	+22.2%
	2月	39,820,270	+2.4%	31,552,880	-0.0%	8,267,390	+12.7%
	3月	46,872,690	+2.7%	38,497,160	+0.5%	8,375,530	+14.1%
令和元年	4月	46,502,140	+9.4%	36,446,290	+8.4%	10,055,850	+13.3%
	5月	47,319,360	+6.5%	38,700,710	+5.6%	8,618,650	+10.4%
	6月	41,964,670	+1.3%	33,415,410	-0.5%	8,549,260	+9.3%
	7月	47,321,550	+0.4%	37,742,090	-0.8%	9,579,460	+5.1%
	8月	58,284,070	-2.4%	49,968,200	-2.5%	8,315,870	-1.7%
	9月	43,754,670	-1.5%	36,833,900	-2.1%	6,920,770	+1.7%
	10月	46,478,870	-0.2%	37,265,630	-2.8%	9,213,240	+11.7%

※ 平成22年4月～6月期調査より、従業者数9人以下の宿泊施設を調査対象に加える拡充をしている。
この点を踏まえ、平成20年～平成23年における前年比は、従業者数10人以上の宿泊施設の実績をもとに算出している。

※ 1)平成19年～平成30年の数値は確定値、2)平成31年1月～令和元年9月の数値は第2次速報値、3)令和元年10月の数値は第1次速報値である。

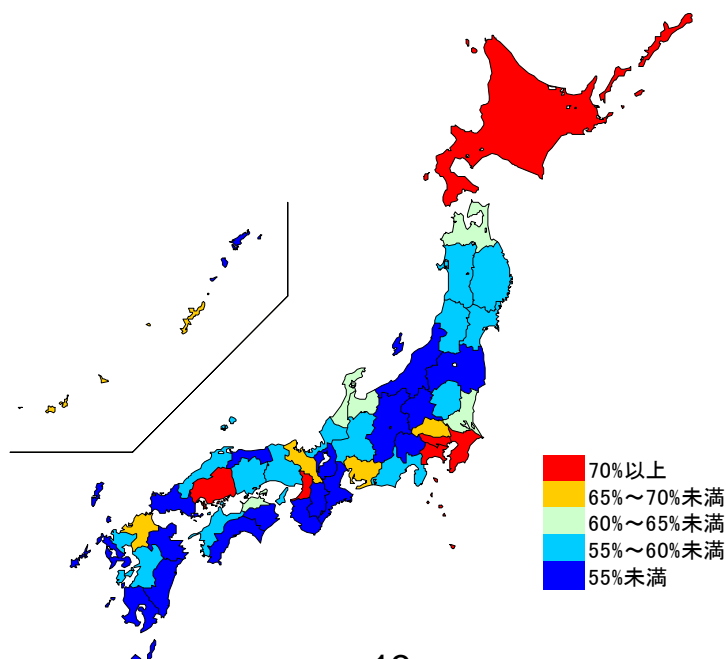
○宿泊施設タイプ別客室稼働率推移表

(単位:%)

	全体	旅館	リゾート ホテル	ビジネス ホテル	シティホテル	簡易宿所	
平成19年						—	
平成20年						—	
平成21年	59.7	49.4	53.3	67.2	71.1	—	
平成22年	64.0	52.9	52.6	68.3	75.7	—	
平成23年	51.8	34.7	46.8	62.3	67.1	—	
平成24年	54.8	35.5	48.0	67.3	72.5	—	
平成25年	55.2	33.4	52.3	69.5	75.7	—	
平成26年	57.4	35.2	54.0	72.1	77.3	—	
平成27年	60.3	37.0	56.0	74.2	79.2	27.1	
平成28年	59.7	37.1	56.9	74.4	78.7	25.0	
平成29年	60.5	37.5	57.5	75.3	79.5	28.0	
平成30年	61.2	38.8	58.3	75.5	80.2	30.2	
平成30年							
1)	1月	52.1	32.8	51.7	65.2	69.7	22.7
	2月	60.2	37.2	57.7	75.6	79.9	27.9
	3月	61.1	37.8	60.3	76.2	80.6	30.0
	4月	60.9	36.2	55.7	76.1	82.1	29.8
	5月	60.6	39.3	56.8	74.2	80.1	29.7
	6月	59.5	35.9	54.6	74.5	80.4	27.7
	7月	61.8	38.0	59.4	75.7	80.9	33.2
	8月	69.7	50.7	72.9	80.9	84.2	44.0
	9月	61.6	38.9	57.6	76.1	78.1	31.8
	10月	64.0	41.9	59.8	78.8	82.5	29.4
	11月	64.4	41.5	57.8	79.7	84.8	29.2
	12月	58.6	35.4	54.7	72.3	78.2	27.1
平成31年							
2)	1月	53.2	33.5	52.1	65.4	69.7	21.7
	2月	61.0	38.2	58.8	75.3	79.4	26.7
	3月	62.8	40.0	60.4	76.9	81.2	29.0
	4月	64.7	39.4	57.5	78.9	82.8	32.8
令和元年							
3)	5月	62.8	41.4	59.8	75.6	80.0	31.0
	6月	60.3	36.7	56.1	74.0	79.6	26.2
	7月	62.9	38.5	60.3	75.8	80.6	34.9
	8月	69.0	50.8	71.1	79.3	82.9	42.4
	9月	62.7	39.6	59.6	76.1	79.1	32.4
	10月	63.3	40.4	58.4	77.1	81.0	27.9
	11月						
	12月						

※ 平成22年4月～6月期調査より、従業者数9人以下の宿泊施設を調査対象に加える拡充をしている。
 ※ 1)平成19年～平成30年の数値は確定値、2)平成31年1月～令和元年9月の数値は第2次速報値、3)令和元年10月の数値は第1次速報値である。

一都道府県別客室稼働率(令和元年9月(第2次速報))一



宿泊旅行統計調査の概要

1. 調査対象期間	毎月(1ヶ月間)
2. 調査施設	全国のホテル、旅館、簡易宿所、会社・団体の宿泊所などの 全宿泊施設 : 54,867施設
	調査施設数 :
	・令和元年9月(第2次速報) 19,210施設
	従業者数10名以上 12,436施設
	従業者数10名未満 6,774施設
	・令和元年10月(第1次速報) 19,033施設
	従業者数10名以上 12,375施設
	従業者数10名未満 6,658施設
	有効回収率:
	・令和元年9月(第2次速報) 51.4%(全体)
	従業者数10名以上 58.7%
	従業者数10名未満 37.8%
	・令和元年10月(第1次速報) 28.9%(全体)
	従業者数10名以上 35.2%
	従業者数10名未満 17.2%

宿泊旅行統計調査の活用における留意点

○当資料の数値は暫定値であるため、確定値において数値が変更します。

○平成22年第2四半期(4～6月調査)から、従業者数10人未満の施設も調査対象となり、その際に母集団数に差異が生じております。調査結果をご活用の際は以下の点にご留意下さい。

● 母集団施設数について

- ・平成21年(確定値)第1四半期:従業者数10人以上の施設(約1万施設)
- ・平成22年(確定値)第1四半期以降:従業者数10人以上の施設(約1.2万施設)

※従業者数10人以上の施設でも、平成21年確定値と平成22年確定値の母集団数には差があります。比較する際には、第1表をご確認頂く等、ご注意下さい。

調査対象拡充の概要

1. 平成22年第1四半期以前の調査

(1)調査対象施設

平成16年度事業所・企業データベース(総務省)を基に、国土交通省観光庁で補正を加えた名簿から抽出した、全国の従業者数10人以上のホテル、旅館、簡易宿所の宿泊施設

(2)集計結果

全国の従業者数10人以上の宿泊施設における延べ宿泊者数等の推計値

2. 平成22年第2四半期以降の調査 ※下線部は主な追加・変更点

(1)調査対象施設

統計法第27条に規定する事業所母集団データベース(総務省)を基に、国土交通省観光庁で補正を加えた名簿から抽出した、全国のホテル、旅館、簡易宿所、会社・団体の宿泊所などの宿泊施設

調査施設については、従業者数に応じて以下のとおり

- 従業者数10以上の事業所 : 全数(悉皆)調査
- 従業者数5人～9人の事業所 : 1/3を無作為に抽出してサンプル調査
- 従業者数0人～4人の事業所 : 1/9を無作為に抽出してサンプル調査

(2)集計結果

全国のすべての宿泊施設における延べ宿泊者数等の推計値

● 宿泊旅行統計調査の詳細データについて

<宿泊旅行統計調査>の詳細データについては、下記ホームページに掲載しています。

国土交通省観光庁ホームページ

<http://www.mlit.go.jp/kankocho/>

観光庁

統計情報・白書

統計情報

宿泊旅行統計調査

(宿泊旅行統計ホームページ)

平成31年・令和元年分の「旅行・観光消費動向調査」、「宿泊旅行統計調査」及び「訪日外国人消費動向調査」の公表予定日は以下のとおりです。

【平成31年・令和元年】

調査名		対象期間		公表日程	
旅行・観光消費動向調査	速報		平成31年 1- 3月分	済	
	速報		平成31年4月- 令和元年6月分	済	
	速報		令和元年 7- 9月分	済	
	速報		// 10-12月分	令和2年 2月 長官会見日	
	年次確報		平成30年分	済	
	年次確報		平成31年・令和元年分	令和2年 4月末頃	
宿泊旅行統計調査	1次	2次	平成30年12月分	済	済
	1次	2次	平成31年 1月分	済	済
	1次	2次	// 2月分	済	済
	1次	2次	// 3月分	済	済
	1次	2次	// 4月分	済	済
	1次	2次	令和元年 5月分	済	済
	1次	2次	// 6月分	済	済
	1次	2次	// 7月分	済	済
	1次	2次	// 8月分	済	済
	1次	2次	// 9月分	済	済
	1次	2次	// 10月分	済	令和元年 12月25日
	1次	2次	// 11月分	令和元年 12月25日	令和2年 1月31日
	1次	2次	// 12月分	令和2年 1月31日	// 2月28日
	年次速報		平成30年分	済	
	年次確報		//	済	
	年次速報		平成31年・令和元年分	令和2年 2月28日	
	年次確報		//	// 6月30日	
	訪日外国人消費動向調査	速報		平成31年 1- 3月分	済
速報		平成31年4月- 令和元年6月分	済		
速報		令和元年 7- 9月分	済		
速報		// 10-12月分	令和2年 1月 長官会見日		
年次確報		平成30年分	済		
年次速報		平成31年・令和元年分	令和2年 1月 長官会見日		
年次確報		//	令和2年 3月末頃		